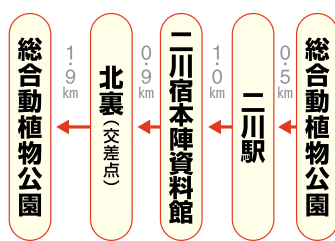


二川宿歴史・文化「コース」

ふたがわしゅくれきし・ぶんか



コースデータ
総距離 ●約4.3km
所要時間 ●約1時間10分

住

み慣れた町ほど、意外と知らない歴史があります。二川地区には二川宿本陣資料館をはじめ、商家「駒屋」・松音寺など魅力的なスポットがあります。二川宿本陣資料館では、大名の宿・本陣と庶民の宿・旅籠屋がセットで見学できます。

交通案内 JR東海道線二川駅南口から徒歩約6分

MAP F-3

二川宿本陣資料館

ふたがわしゅくれきしほんじんしりょうかん

江戸時代の街道と歴史文化をテーマに「東海道」「二川宿」「本陣」という3つのコーナーで展示を行う資料館です。また、資料館に隣接している二川宿本陣は、文化4年「1807」から明治3年「1870」まで本陣職を勤めた馬場家の遺構で、改修復原工事により主屋・玄関棟・書院棟・土蔵棟を江戸時代の姿に復原し、大名や公家などの貴人の宿舎であった建物を公開しています。旅籠屋「清明屋」は、江戸時代後期から明治まで二川宿で旅籠屋を営んだ倉橋家の遺構で、改修復原工事により主屋・繋ぎの間・奥座敷等を江戸時代の姿に復原し、一般庶民の宿であった建物を公開しています。



PHOTO

MAP G-3

駒屋

こまや

駒屋は江戸時代、二川宿で質屋を経営するとともに、問屋・名主などの宿村役人を勤めた



MAP F-2

松音寺

しょうおんじ

嘉永7年「1804」の地震後、表構えや内部の一部に改修を受けていますが、創建当時の特徴をよく伝えており、豊橋市内では数少ない商家町屋遺構です。

田村家の遺構で、敷地内には旧東海道に面して、文化11年「1814」建設の主屋と明治11年「1878」建設の通門が建ち、主屋の背後には、南土蔵(天明7年)、中土蔵(安政3年)、北土蔵(明治3年)正時代、北倉(嘉永3年)のほか、明治時代に建てられたとみられる茶室や離れ座敷が残されています。主屋は棧瓦葺、厨子2階建て、片側通り土間式2列6間型の町屋で、



PHOTO

とよはしの歴史発見